



暑熱対策を行いましょう

猛暑に備え、家畜が健康で快適に過ごせる環境を作り
生産性の低下を防ぎましょう。

家畜が暑さを感じ始める温度



約19℃



約26℃



約22℃



暑熱被害

- ・食欲不振
- ・繁殖能力の低下
- ・乳量の低下
- ・家畜のへい死

引用:「やさしい畜産技術の話」

対策のポイント

①畜舎内に熱・湿気をためない

- ⇒換気扇、扇風機、ダクト送風機による十分な送風量確保
- ☆夕方以降もしっかり送風し、家畜の体温を下げましょう。
- ☆細霧装置で気化熱を利用することも考えましょう。

②舎外から侵入する熱を減らす

- ⇒遮光ネット等による遮光、屋根に散水、屋根へ遮熱塗装実施

③食欲が落ちないように飼料給与を工夫する

- ⇒涼しい時間に給餌、ビタミン・ミネラルの補給、新鮮な飼料の多回給与、十分な水の確保



農場作業の際は、こまめな水分補給など、熱中症に十分注意してください。

